

## 第9章 日本銀行

秋野 有咲

### 9.1 日本銀行の概要

#### 9.1.1 日本銀行の基本情報

日本銀行は日本唯一の中央銀行である。日本銀行は認可法人であり、政府機関ではない。日本銀行本店は東京都中央区に所在しており、32の支店、14の国内事務所が存在している。北海道には札幌・釧路・函館に支店、旭川・帯広に事務所が置かれている。また、国外の7つの都市に海外事務所が置かれている。

日本銀行には最高意思決定機関として政策委員会が置かれており、通貨および金融の調節に関する方針を決定するほか、そのほかの業務の執行の基本方針を定め、役員の職務の執行を監督する権限を有している。日本銀行には役員として総裁、副総裁（2名）、審議委員（6名）、監事（3名以内）、理事（6名以内）、参与（若干名）が置かれ、このうち総裁、副総裁、新議員会によって政策委員会が構成される。

図 9-1 日本銀行



出所：東京の観光公式サイト  
GO TOKYO

#### 9.1.2 日本銀行の歴史

日本銀行は、1940年6月に制定された日本銀行条例に基づき、同年10月10日に業務を開始した。1942年2月には、日本銀行法が制定され、日本銀行は同年5月1日に改組した。1942年の日本銀行法は日本銀行の目的について、「国家経済総力ノ適切ナル發揮ヲ図ル為国家ノ政策ニ即シ通貨ノ調節、金融ノ調整及信用制度ノ保持ニ任ズルヲ以テ目的トス」と定めるなど、戦時色の濃い内容となっていた。この年の日本銀行法は、戦後何回かに亘って部分的な改正が行われ、1949年6月の改正では、最高意思決定機関として政策委員会を設置することが定められた。1997年6月、「独立性」と「透明性」という2つの理念の下に、日本銀行法は全面改正され、改正後の日本銀行法は1998年4月1日に施行された。

#### 9.1.3 日本銀行の役割

日本銀行の目的として、「我が国の中央銀行として、銀行券を発行するとともに、通貨及び金融の調節を行うこと」および「銀行その他の金融機関の間で行われる資金決済の円滑の確保を図り、もって信用秩序の維持に資すること」と規定している。

そのような目的を果たすため日本銀行の役割として「発券銀行」「銀行の銀行」「政府の銀行」がある。まず1つ目の「発券銀行」とは紙幣を発行する役割のことである。日本や世界の経済を見通して政府と意見のすりあわせを行いながら金融政策に伴う紙幣の発行業務を決めている。

次に2つ目の「銀行の銀行」についてである。日本銀行の中にみずほ銀行などのメガバンクや地方銀行など金融機関の口座が作られていることから呼ばれている。金融機関の経営を把握するために直接各銀行に出向いて立ち入り調査を行い、聞き取りのヒアリングで経営分析をおこなっている調査の結果は書類や月報といった形で発表される。

最後に3つ目の「政府の銀行」についてである。日本銀行では国の事務を行っている。国から国民に請求される国税や社会保険庁などお金の受け払い先は、日本銀行になっており、その際に使われる納付書類は、日本銀行の本店で機械に読み込まれた後、該当の省庁へ納付金額をまとめた書類として送られる。また、国際金融に関わる事務として、外国為替相場の安定を図るために為替介入も行う。

## 9.2 銀行券・貨幣

### 9.2.1 銀行券の発行と流通

#### 日本銀行券の発行

日本銀行法では、日本銀行は、銀行券を発行すると定めており、銀行券は独立行政法人国立印刷局によって製造され、日本銀行が製造費用を支払って引き取り、日本銀行の取引先金融機関が日本銀行に保有している当座預金を引き出し、銀行券を受け取ることによって、世の中に送り出される。このことによって日本銀行が銀行券を発行したこととなる。

銀行券には、銀行券を用いて支払いを行った場合、相手がその受取りを拒絶できないという、法貨としての強制通用力が法律により付与されている。現在、日本銀行は、一万円券、五千円券、二千円券、千円券の4種類の日本銀行券を発行している。

#### 日本銀行券の流通

日本銀行が発行した銀行券は、金融機関から預金を引き出した人々や企業の手に渡り、商品の購入や、金融取引の対価、税金の納付といったさまざまな目的に利用され、銀行券の一部は金融機関に持ち込まれ、預金として預けられる。金融機関は、利用者への支払いに当面必要としない銀行券を、日本銀行の本支店に持ち込み、日本銀行当座預金に預け入れる。このように銀行券が日本銀行に戻ってくことを、銀行券の還収と呼ぶ。

日本銀行や金融機関は、銀行券が全国各地にくまなく行き渡るための流通拠点としての役割を果たしている。

### 9.2.2 銀行券の管理

金融機関を通じて銀行券が日本銀行の本支店に戻ってくると、日本銀行は、受け入れた銀行券の枚数を確認し、偽造・変造された銀行券が再び流通することがないように厳重に真偽鑑定を行っている。また、損傷や汚染の度合いから再度の流通に適するかどうかも判別し、その結果流通に適さないと判断された銀行券を廃棄している。日本銀行が行うこのようなチェックのことを鑑査といい、日本銀行の鑑査によって選り分けられた本物できれいな銀行券は、再び金融機関に支払われていく。また、日本銀行では、本支店の窓口において、損傷した銀行券の引き換えを行っている。

日本銀行券には、偽造・変造を防止するために、従来からさまざまな偽造防止技術が施されているが、近年、偽造銀行券が急増したため、日本銀行は、2004年11月から、最新の偽造防止技術が施された一万円券、五千円券、千円券の3種類の新しい日本銀行券を発行している。また、日本銀行は偽造対策のため、外国の中央銀行との情報交換や共同研究などの国際的な取組みを行っている。

貨幣は政府によって発行されている。貨幣は、独立行政法人造幣局が製造した後、日本銀行へ交付されるが、この時点で貨幣が発行されたことになる。貨幣も銀行券と同様に、日本銀行の取引先金融機関が日本銀行に保有している当座預金を引き出すことを通じて、世の中に送り出されている。

## 9.3 日本銀行旧小樽支店 金融資料館

### 9.3.1 施設概要

日本銀行旧小樽支店の建物は、赤レンガで有名な東京駅の設計者・辰野金吾とその息子である長野宇平治らが設計し、1912年7月に完成した。設計者である辰野金吾は日本の近代建築の基礎を築いた人として知られている。

小樽はかつてにしんや石炭の積出港として栄え、倉庫や金融業などあらゆる商品とお金や情報が飛び交った商都であった。

“北のウォール街”と呼ばれた繁栄期も過ぎた2002年9月、日本銀行の支店として

置かれていた小樽支店は支店としての機能を札幌支店に統合された。銀行として使われなくなった歴史的建造物を活かし、金融資料館として2003年5月に開館した。この施設では、来館者に対し、日本銀行の業務や金融経済の仕組み、歴史などを分かり易く解説することにより、日本銀行の機能や役割を理解してもらうとともに、国民生活に関連が深い金融知

図 9-2 日本銀行旧小樽支店 金融資料館



出所：北海道 Likers

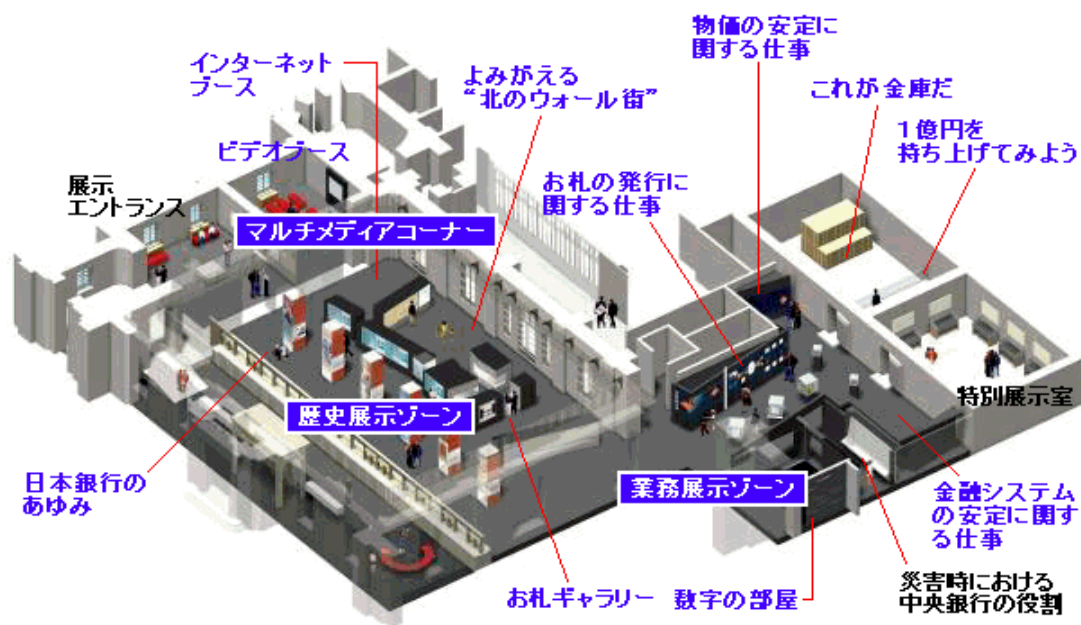
識を提供している。

### 9.3.2 館内の様子・展示内容

建物の特徴として外観にはルネッサンス様式を取り入れられ、外壁石造り風に仕上げられており非常に豪華な造りとなっていることがあげられる。また館内には大理石が使用された営業所カウンターが置かれている。

展示内容については歴史展示ゾーン、業務展示ゾーン、マルチメディアコーナーの三つのゾーンにそれぞれ分かれている。歴史展示ゾーンでは日本銀行や日本銀行旧小樽支店の歴史や小樽市文化財になっている建物のことについて知ることができたり、第2次世界大戦後に発行されたお札の実物を見たりすることができ、業務展示ゾーンでは日本銀行の業務内容について知ることができ、マルチメディアコーナーでは大型ディスプレイやパソコン端末が設置され、ビデオやインターネットを使って楽しみながら金融知識が学ぶことができる。

図 9-3 金融資料館内・全景



出所：日本銀行旧小樽支店 金融資料館 HP

表 9-1 展示内容

| 歴史展示ゾーン                                                                                                  |                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>日本銀行のあゆみ</p>         | <p>日本の金融経済の歴史のなかで日本銀行が誕生以来担ってきた役割を、当時の資料をおりまぜながら紹介している。</p> <p>また、北海道内に設置された日本銀行の店舗の移り変わりや小樽や旧小樽支店がどのように変わっていったかもみていくことができる。</p> |
| <p>よみがえる“北のウォール街”</p>  | <p>日本銀行旧小樽支店が果たしてきた役割を解説するとともに、“北のウォール街”を再現している。</p> <p>建築当時の図面や上棟式のお弁当メニューなども見ることができる。</p>                                      |
| <p>お札ギャラリー</p>        | <p>第二次世界大戦後から現在にいたる日本銀行券を展示している。なつかしいお札を見ることができる。</p>                                                                            |
| 業務展示ゾーン                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| <p>お札の発行に関する仕事</p>    | <p>日本銀行はわが国で唯一お札を発行している銀行である。このコーナーでは、お札の一生やニセ札を防ぐためのいろいろな工夫について紹介している。</p> <p>拡大したお札を観察して、普段は気づかない部分の工夫を見つけることができる。</p>         |

|                                                                                                                          |                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>物価の安定に関する仕事<br/>金融システムの安定に関する仕事</p>  | <p>金融政策や金融システムといった一見難しそうなことについてイメージグラフィック等でわかりやすく解説している。</p>                                                  |
| <p>これが金庫だ</p>                          | <p>日本銀行の金庫の中はどのようなになっているのか。</p> <p>ここでは 2002 年まで実際に現金を保管していた金庫を開放し、内部を再現している（写真は模擬パック）。金庫扉や壁の厚さも知ることができる。</p> |
| <p>1 億円を持ち上げてみよう</p>                  | <p>金庫の中の 1 億円の模擬パックをもち上げて、1 億円の重さを体感することができる。</p>                                                             |
| <p>数字の部屋</p>                          | <p>日本銀行の窓口から発行されたお札は、世の中のいろいろな経済活動を支えている。</p> <p>この部屋では、音楽に合わせ、次々に現れる数字の動きを通して、経済のダイナミズムを体感できる。</p>           |

| マルチメディアコーナー                                                                                         |                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>インターネットブース</p>  | <p>日本銀行のインターネット・ホームページなどを見ることができる。</p> <p>日本銀行に関する「にちぎんクイズ」が、金融資料館の展示から出題されている。</p> |
| <p>ビデオコーナー</p>    | <p>日本銀行の業務をわかりやすくまとめたもの、お札に関するもの、主に小中学生向けに日本銀行の業務をまとめたものなどの3種類のビデオを見ることができる。</p>    |

日本銀行旧小樽支店 金融資料館 HP より筆者作成

## 参照 HP

- ・小樽市 HP

[https://www.city.otaru.lg.jp/simin/gakushu\\_sports/kenzo/](https://www.city.otaru.lg.jp/simin/gakushu_sports/kenzo/)

- ・東京の観光公式サイト GO TOKYO

<http://www.gotokyo.org/jp/kanko/chuo/education/9.html>

- ・日本銀行旧小樽支店 金融資料館 HP

<http://www3.boj.or.jp/otaru-m/>

- ・日本銀行の3つの役割

<http://www.woman110.com/200807/no315.html>

- ・日本銀行 HP

<http://www.boj.or.jp/>

- ・北海道 Likers

<http://www.hokkaidolikers.com/articles/2819>